

大阪府に寄せられたご意見（2022年11月分）の概要

府民文化部 府政情報室 広報広聴課 広聴グループ

総件数・内訳

2022年11月分948件 受付期間: 2022年11月1日から2022年11月30日まで

<参考>前年同月: 5,524件 (うち署名4,380件)

2022年度(4月から11月まで)計: 9,181件(署名含む)、8,260件(署名除く)

2021年度(4月から11月まで)計: 42,225件(署名含む)、23,165件(署名除く)

【ご意見の内訳】

○府政に関する意見	694件
○所管外	187件
○その他(趣旨不明等)	67件
計	948件

【公表・対応分】

○連絡をしたもの	5件
----------	----

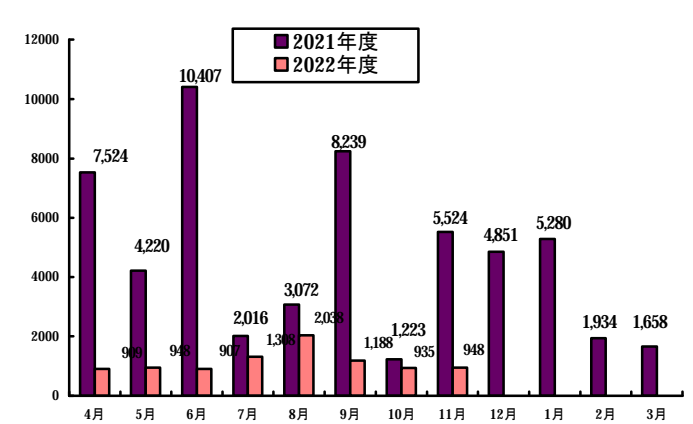
【府政に関する意見(主なもの)】

(1) 感染症対策に関するもの	126件
(2) 経営支援に関するもの	57件
(3) 子育て支援に関するもの	57件
(4) 物価高騰に関するもの	28件
(5) 大阪・関西万博に関するもの	19件

【受付部署別件数】

- ・府民お問合せセンター 808件
- ・府政情報室 137件
- ・各所属 3件
(所属内訳)
府民文化部・都市整備部 1件
教育庁 2件

【件数の推移】



個別施策の主なご意見

【感染症対策に関するもの】

- ・先日、感染防止認証ゴールドステッカーを取得している店で食事をしたが、入店時の消毒・検温がなく、食事以外ではマスクを着用するよとの説明もなかった。このような店が認証されていてよいのか。
- ・府のコロナ感染者数を正確に発表してほしい。経済優先のため、緊急事態宣言が出ない状況下で、感染拡大にブレーキをかけることができるのは、正確な感染者数の報告しかない。

【子育て支援に関するもの】

- ・物価高騰で家計負担が増えている子育て世帯への支援策として、18歳以下の子どもに対してお米10キロ相当を配るとのことだが、物価高騰は子育て世帯だけが直面している問題ではない。いつも、子育て世帯が支援の対象となるが、所得制限も設けずにバラまきのようなことをしないでほしい。特定の対象だけではなく、もっと府民全員に目を向けた対策を行うべきだ。

- ・お米10キロを配る件については、色々な販売ルートがある中、頭越しに供給されると、売上げが減少する業者が出てくるなど、市場が混乱する。この政策を進めるなら、地元の米屋やスーパーから発送するか、売上減少に対する補償が必要ではないか。

【物価高騰に関するもの】

- ・大阪府ゴールドステッカー飲食店応援事業食事券を購入した。券種は500円券が数枚、残り全てが1,000円券であり、2次募集と券種が違っていた。せめて募集の際に券種の内訳を公表しておくか、購入時に券種を選択出来るようにしておくべきだ。
- ・プレミアム食事券の使用期限が12月31日までというのは、あまりにも短期間過ぎる。せめて購入を申し込んでから食事券を交換するまでの期限から、2か月間は使用できるようにしてほしい。早急に使用期限の延長を検討してもらいたい。

【大阪・関西万博に関するもの】

- ・万博工事で入札不成立となった案件があるが、万博の規模の縮小等を決定するべきではないか。

ご意見の取扱い

大阪府に寄せられたご意見は、今後の府政運営の参考にさせていただきます。このうち、制度や府の考え方の説明が必要と判断したものなどは、適宜ご本人に連絡を取るなどして回答しました。回答内容については、「[府政へのご意見](#)」ホームページに掲載しています。

また、府以外の官公庁に関するご意見については、国、市町村にそれぞれ内容をお伝えしました。